

保健体育

保健体育科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
<input type="checkbox"/> ア 知識及び技能	<input checked="" type="checkbox"/> イ 思考力、判断力、表現力等
運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける	運動や健康についての自己の課題を発見し、解決に向けて思考・判断するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 授業に真剣に取り組む生徒は多いが、意見を伝えることが苦手な生徒がいる。 自己の課題を発見し、他者と共有したり話したり、お互いを高め合う姿勢を伸ばすことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元毎に運動の特性の理解を深めるために、学習カードを活用し、運動の仕方や特性、成り立ちについて自ら学び知識を深められるようにする。 授業中に ICT 機器を使用し、自己のフォームを確認したり、作戦ボードを使って班内で作戦や課題等を話し合ったりする場面を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始時に実施 単元の中で適宜 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に取り組む生徒が多い。また、何事にも前向きに取り組もうとする。 自己の課題を発見し、他者と共有したり話したり、お互いを高め合う姿勢を伸ばすことが課題である。<input checked="" type="checkbox"/>イ 	<ul style="list-style-type: none"> 単元毎に運動の特性の理解を深めるために、ICT 機器を活用し、運動の仕方や特性について自ら学び知識を深められるようにする。 授業中に ICT 機器を使用し、班内で課題等を話し合う場面を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始時に実施 単元の中で適宜 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 授業に積極的に取り組む生徒は多いが、単元毎に興味・関心の二極化がみられる傾向が見られる。<input type="checkbox"/>ア 体力テストの結果では、女子はハンドボール投げ、反復横とび、男子は長座体前屈と立ち幅とびが低い傾向にある。引き続き基礎体力をつけていく必要がある。 自己の課題を発見し、他者と共有したり話したり、お互いを高め合う姿勢を伸ばすことが課題である。<input checked="" type="checkbox"/>イ 	<ul style="list-style-type: none"> 単元毎に運動の特性を理解し、実技書などの教科書や ICT 機器に触れながらポイントをおさえ、見通しをもたせて授業に取り組ませる。 授業開始時に補強運動を取り入れ、基礎体力向上に取り組む場面を設ける。 授業の中で話し合いやお互いに見せあったり、教え合ったりする時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始時に実施 単元の中で適宜 単元の中で適宜 	

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>ICT 機器を使い、授業の振り返りを行う。タブレット上に保存することで振り返ることができる。また、互いに運動の姿を撮影し、互いに見比べ、課題を解決するために活用している。</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>授業前にアンケート、授業後に習熟度確認テストを ICT 機器を使用して行うことで、自ら課題を把握し、学びに向かう力の育成に図る。</p>
---	--